西向村小山氏古文書寫

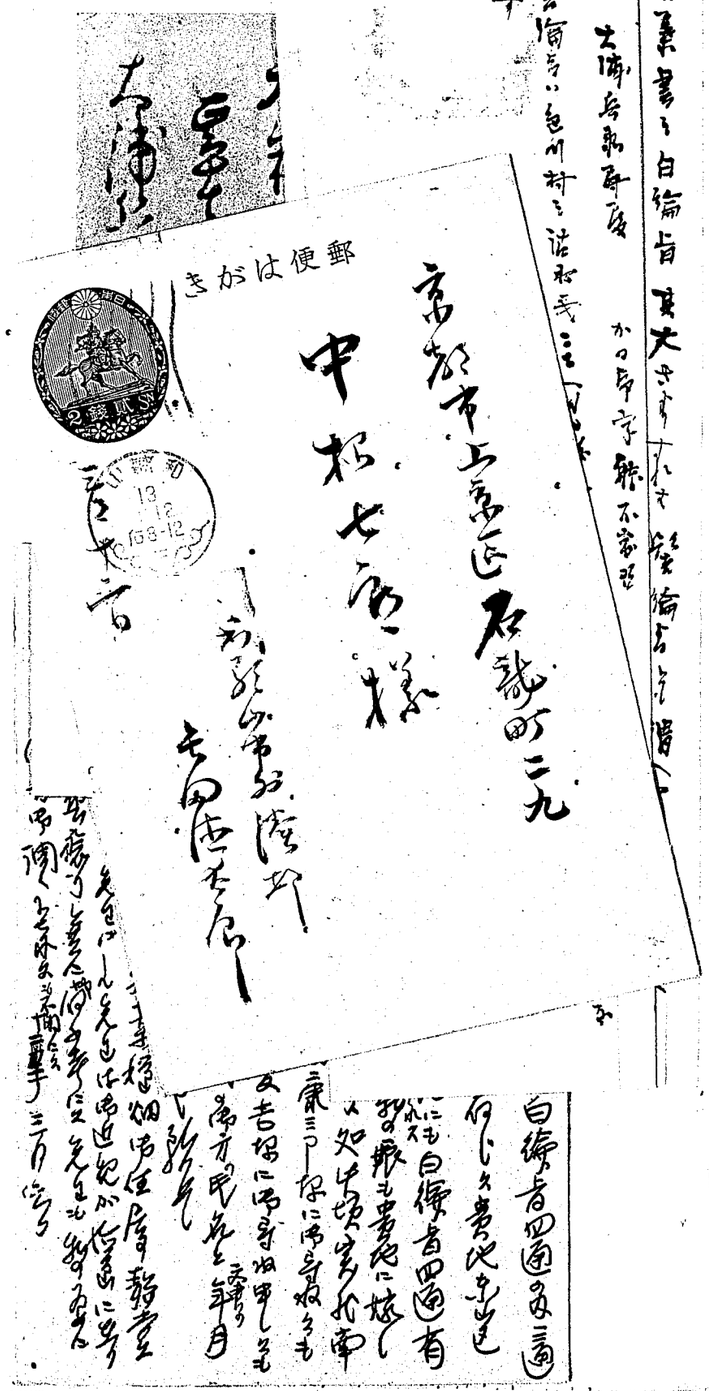
291
11
2

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03937

西向村小山氏家業失敗ノ結果本町ヘ移住シ其商トナリ居ルコト數年再ビ失敗シテ猶大坂ヘ赴ク時ヘ昭和六年ノ暮ナリ

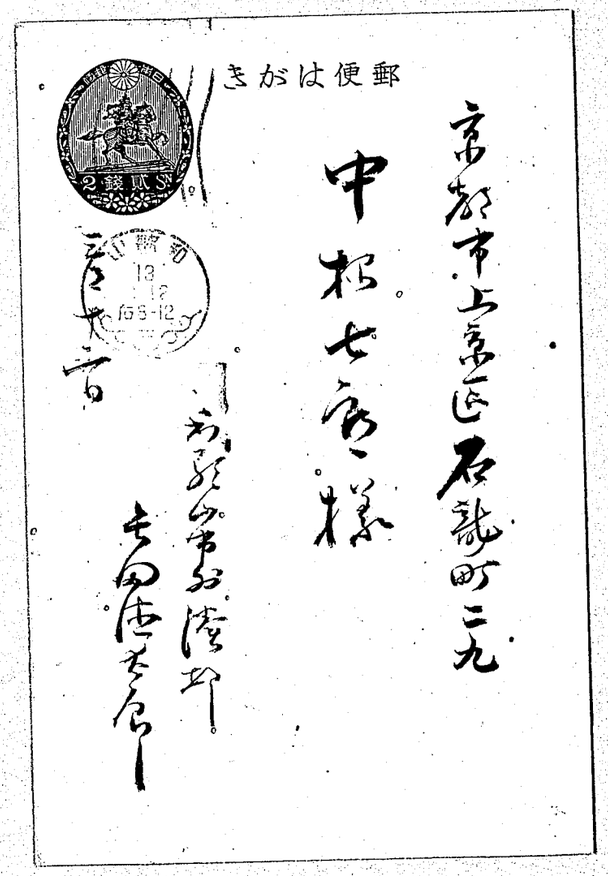
同年九月其居ヲ訪ヒ一ツ得難キ古文書、並古文書、系譜ヲ見ル其他東積一籠アリ年代大ヘタ古カラズ中ニ定乗ヘ資スルモノナキカ如シ精々視ルニ暇ナキヲ以テ大略ヲ信ジテ帰リ系譜ハ別ニ寄レテ一冊トナス

愚生



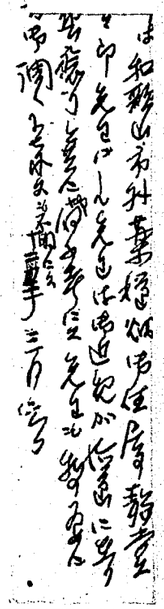
白鳥者四面ノ文三面有
白鳥者四面有
知ル頃実ハ南
吉祥ニ所ノ名ハ

西伺村小山氏家業失、隆盛ニ赴ク時、移住シ奥高ト称セリ
ルコト数年ニシテ失敗シテ猶大坂ニ赴ク時ト昭和六年ノ暮ナリ
同年九月貴居ヲ訪ヒ一切伝説古文書、並古文書一覧、系譜

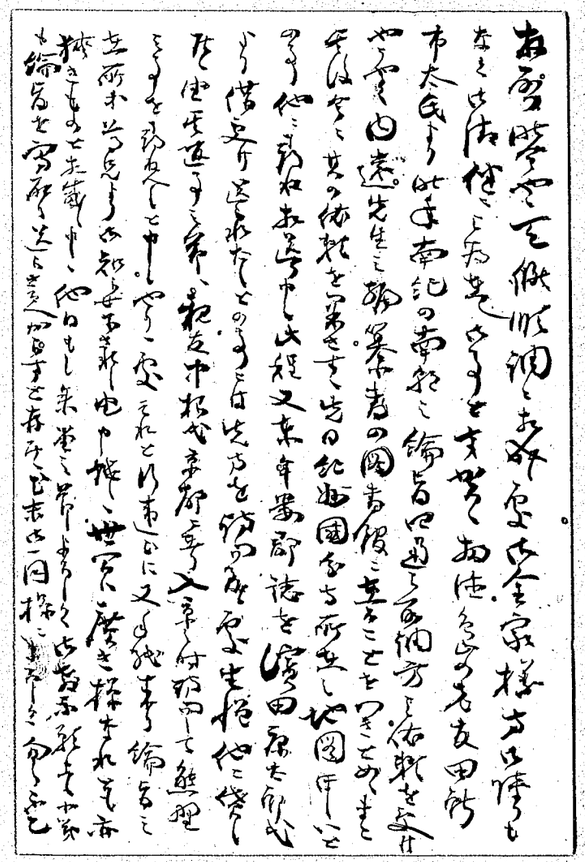


大阪市天満区

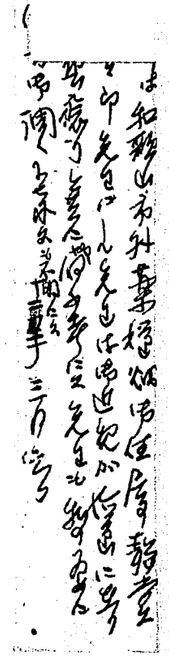
西伺村小山氏伝説古文書巻物



西伺村小山氏家業失墜ノ結果在所ヲ移住シ奥高ト称ス
ルコト数年ニ及ビシガ大切ニ持ち越シ
同年九月其居ヲ訪ヒ一冊古文書、並古文書、系譜



西伺村小山氏佐幕古文書巻物



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

西向村小山氏家業失敗ニ陥リ昭和五年ノ頃郡内ノ某所ト移住セル旨ト聞ク
ルコト数年再ビ失敗シテ猶大坂ニ赴ク時ニ昭和六年ノ暮ナリ
同年九月財産ノ訪ヒ一切譲渡セル古文書、並古文書類、系譜
ヲ見ル其他東積一ケ所ニ集リ年代大ノ古カラズ中更ニ集ニ貸スルモノ
ナキカ如シ精々視ルニ暇ナキヲ以テ大略ヲ借受テ帰リ
系譜ハ別ニ寄セテ一冊ヤナル

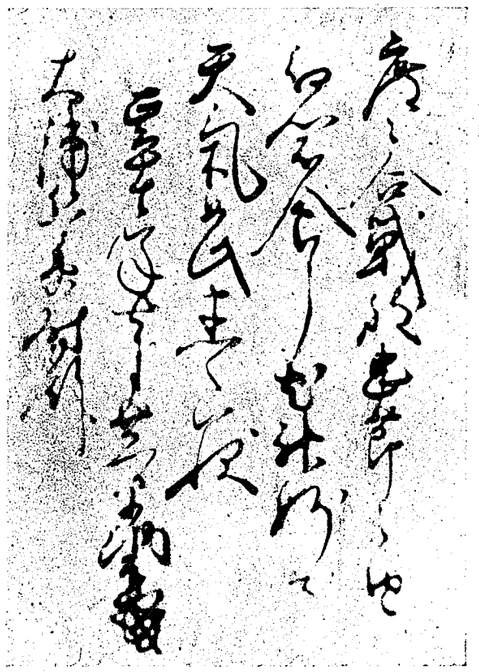
恵

恰度書ヲ白編皆其大きすぎれば整編ヲ謂ハ甚又ハ
度々合戦殺忠第二由　被閲食場太平紀作
天氣如此急之以秋　已ニ十八年七月廿二日　少納言在中
出陣各熟事　かの事字無不審也
整編ハ色川村ヲ指ス　一見陸たるべし　久しけれも死後　恵

中根文庫

西向村小山氏家業失敗シテ昭和五年ノ暮ヨリ
ルコト数年再ビ失敗シテ猶大坂ニ赴ク時ニ昭和六年ノ暮ヨリ
同年九月其居ヲ訪ヒ一切猶徒城古文書、並古文書、系譜
ヲ見ル其他東讀一冊アリ年代大ニ古カラズ史乗ニ資スルモノ

白綸旨（約貳大）

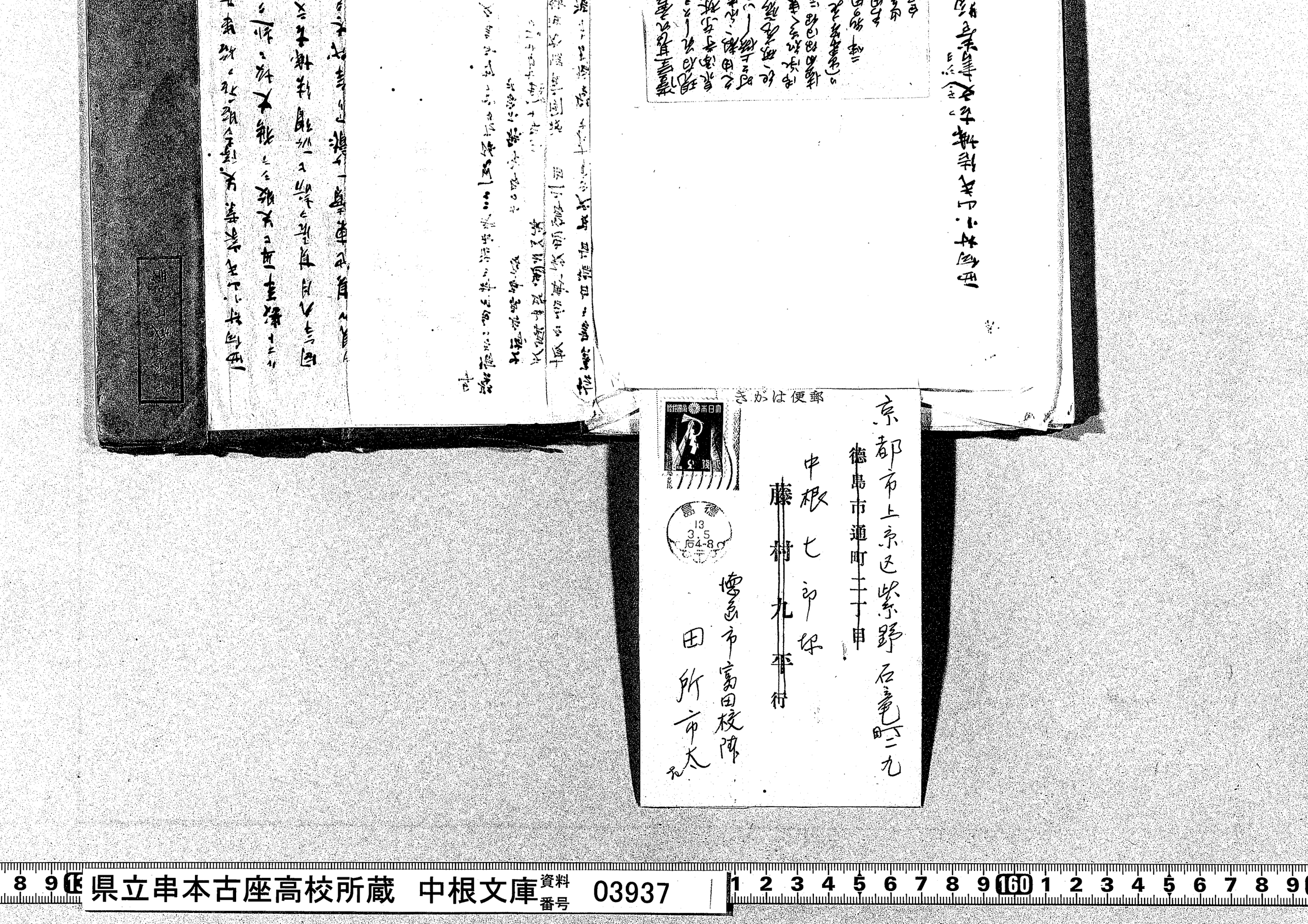


白綸旨
（約貳大）
四通一
通完
（照参明説綸旨）
有之
雲記
四通
有之

白綸旨四通及三通
名書代京出
白綸旨四通有
ルモ書体に拙
中頃宮外南
朝に帰シ奴ラモ
に帰シ如甲ルモ
民部ニ三年ノ月
ノ年
住居移
ルカ伝説に基
ケモ参考ニ
ケラ

西伺村小山氏家業失墜シ昭和五年ノ暮ナリ
ルコト数年再ビ失敗シテ猶大坂ニ赴ク時ハ昭和六年ノ暮ナリ
同年九月貸屋ヲ訪ヒ二ツ程古文書、並古文書一箱、系譜
[illegible]

[illegible]



郵便はがき

京都市上京区紫野石竜町二九

徳島市通町二丁目

中根七市郎

藤村九平 行

懐徳市富田校陣

田所市太郎

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03937

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

西牟婁郡串本町大字有田

京都市上京区紫野石龍町十九

中根七郎殿

きがは復往便郵
（往信）

和歌山市富田校内

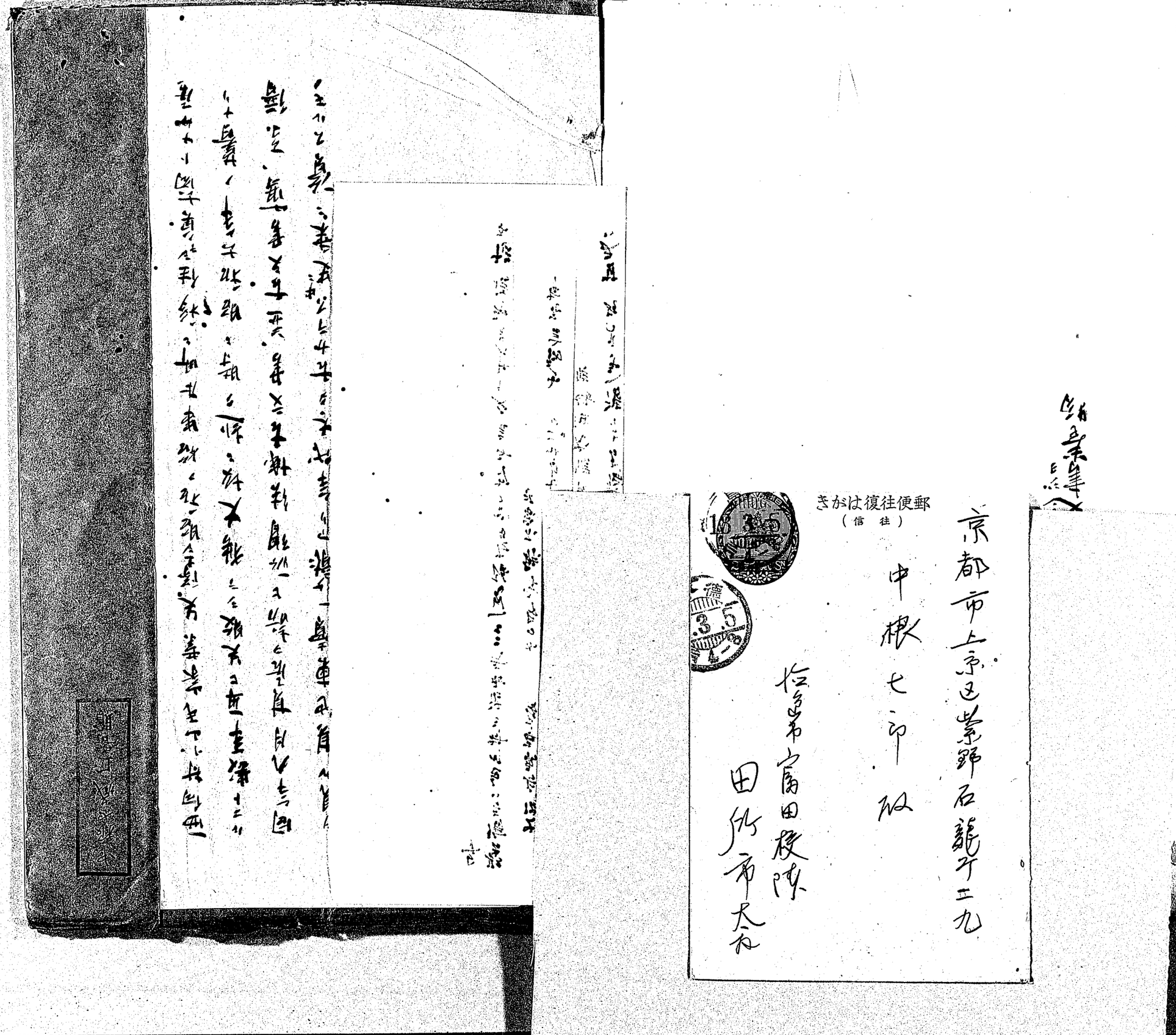
田所市太郎

十月十日

[illegible]

[illegible]

[illegible]



きがは復往便郵
（往信）

京都市上京区紫野石龍下二九

中根七郎 様

佐賀市富田校内

田代市太郎

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

291
11
1

古文書巻物一軸何レモ本書ナリ昭和六年其家蔵本ニ就キテ
之ヲ見ルニ字体行草ニシテ往々誤リ難キ所アリ故ニ目次跋文
ヲ省シ本文ハ小山氏系図及伯耆国土記ニ係リテ之ヲ写シ
巻物ニハ表題ナシ

串本古座高校図書館
28.10.21
資料NO. 3937

一文保二年十二月廿日　宣旨
一興国元年八月廿四日　宣旨
一興国二年五月廿日　綸旨
一正平七年三月廿四日　綸旨　小山五郎
一正平十年五月九日　宣旨
一延元四年七月十九日　綸旨
一七月三日　綸旨
一七月十七日　左衛門尉和田重茂達状
一延元元年七月七日　小山実隆軍忠状
一延元二年三月　日　同
一貞和三年八月廿三日　尊氏書状

一元亨元年　
一元亨元年　
一元亨元年　
一元亨元年　
一元亨元年　
一元亨元年　
一元亨元年　
一元亨元年　
一元亨元年　

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

一 文正十九年九月廿六日　藤堂佐守書状

文禄三年十二月廿日　宣旨

中原政重
宣旨内舎人
穐部雲長
宣旨宮内丞
左兵衛府藤原資隆
右兵衛府平　景隆
以上宣旨左衛門少尉
源頼信

実隆ハ小山殿より
令出奔
淳正台ノ次ニ
検門府ヲ
近衛或説ニ淳正台
為解由ヲ次ニ
左右兵門府ヲ
除原新
淳正台
左右近衛府ノ次ニ

左右兵門府アリ
検門ノ号新ニ立ル
レ少尉ノ上ニ位セ
中行以上ノ下ニ宜
ムキヲ脱シタルカ

高杉晋俊
以上任左兵衛府
藤人左衛門權佐兼東宮大進藤原信頼奉
進上石山院新中納言殿

慶応元年八月廿四日　宣旨
法橋淨圓
宣旨叙法眼
蔵人右少弁　藤原朝臣親忠奉

淨円ノ実隆

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

前事、文和間
地名ヲ誤ル
柚賀の下、者の字ハ「ヒ」ト読ム
陸奥十郎左衛門
事記ノ
見ヨ

小山法橋淨圓日来軍忠之次第所被問召也殊社如當時抽賞合
耶最中也来月廿日以前馳参致忠節者可被抽賞者　天文如件

（巻之一状）

久知口荘　木窟

舞岸大夫先生所説

桜と河邊郡小田村に大字久知あり、多分久知
姉見堂は著名なるが、此の邊を久知荘といひし
かもかは霞ヶ浦か。　有馬郡山口村を普功地山と
いひ、延喜式内社　公智神社あり、ここも久知山荘
とかかるか考へ難し。他に類似の地名多し。

（巻之一状）

前の下書ヲ
備ノ

沼島後措事先度被加之畫図及度々合戦之由
聞ニ依テ陸奥長
聞ニ依テ

左兵衛尉藤原義氏
左衛門少尉
藤人頼右近衛権中将藤原公憲奉

紀伊国財左衛家職為當宮日供料所如元可被執行者　天文如
件巻之一状
延元四年七月十九日　熊野山新宮一味衆中

少納言　印

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

前軍・大和国ハ地名ナリ・法
抽賞ノ下ノ者ノ字ハコトドト徒ナリ
陸軍大将・近衛
新記・同月・訂ナリ

小山法橋淨圓日来軍忠之次第所被問召也殊被抽賞時流重合
耶最中也来月廿日以前馳参致忠節者可被抽賞者　天台如件

右中将判

悉之以状

興国二年五月三十日

摂津国久知　荘任相傳知行不可相違者　正慶如件悉之以状

正平七年三月十四日　　左少将判

小山五郎殿

正平十年五月九日　　宣旨

左兵衛尉藤原義氏
左近衛門少尉
従人頭右近衛権中将藤原公夏奉

紀伊国財左衛門尉為宣宮日供料所如元可被知行者　天台如
件悉之以状

延元四年七月十九日　　少納言　印

熊野山新宮一味衆中

沼島後措事先度被加之畏也院宣来小豆島及度々合戦之由
措ノ下ノ番ノ備カ

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

信濃所令注進也急速令発向可令鎮治凶徒者　天気如件悉之

以状

十月三日　　小山一郎殿　　左少弁判

舟生城後構依ゝ延引散落之條無念之次第也各々可被成不覚之思者歟移又今月十三日小豆島寄来由以早船令申上云々其生云小豆島無後構者可為天下之御大事也所詮今月廿四日為後構注路小豆島之間面々可令発向給由依大将軍御状遣也仍件

七月十七日　　左衛門尉　永重判

塩崎一郎殿

加一見畏判

熊野山上綱小山三郎宗隆殿

今月五日朝敵足利一族新宮誘上綱以下率群勢令上洛候之間出向海上致合戦忠節則追帰候畏此條御奉行御見知之上者早預御證判之令有向後偏可成軍忠之勇候哉以件趣可有沙汰状

如件悉宗隆恐惶謹言

延元二年十六月七日

御奉行所

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

一見聞判

小山新左衛門尉実隆申去二月廿九日於田辺怒領法印城攻
手塚戸口夜攻之時一族小山四郎兵衛尉同四郎兵
衛尉自筆右肩射疵同三郎次郎隆実右腕射疵同
隆三郎隆春左射疵牛外下部五人被疵之條顕然也故所見如之
上山本新左衛門尉志行寺九郎左衛門尉助行相共抽軍忠畢然
早旦預御注進且下賜御證判向後依抽軍命可抽合戦忠節仍以
件旨可有御披露恐惶謹言

左衛門尉　実隆上

延元二年三月　日

進上　御奉行所

参御方可被軍忠之状如件

貞和三年八月廿三日

小山新左衛門入道殿　判

来春早々唐入御陣用意之事

一のけり　弐本

一こさ一物　八人　但三本しおへ内ヲてつそう

一かゝみと　壱ッ金のとつはい

一屋り　八本さや　金のたうちわ

一馬のり　壱騎　金のせし　但し馬ハ九外まてたすへくそ

右之分御陣用意　長崎新左衛門尉

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

俗人数輩之計御心懸次第ニ付ハ
為ニ御自然御手寄不成事ニ有之ハ可承候聊之可申候
ヨリ御ハ御分別次第ニ御ニ上
天正十九年九月十六日　藤堂佐渡守
小山助之丞殿

右紀伊國東牟婁郡小山氏八郎所蔵文書十二通所謂結城文書
ノ内ニシテ小山氏ハ則結城入道宗廣ノ裔ナリ明治二十一年
安澤氏ノ命ヲ奉シ南海古文書ヲ採訪スルノ時之ヲ皆携ヘ帰
テ一本ヲ摹写シ官庫ニ蔵ス因テ原書ノ粉装ヲ加選件シ系シ
家寶トナサレム

明治廿四年二月

帝國大学編年史編纂委員
文学博士重野安繹印

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

小山氏古文書目録巻物

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03937

此一書何レモ古文書写ナリ昭和六年串本町住小山氏ニ於キ
一見シテ写レ帰ル
巻物ニハ表題ナシ

法華寺蔵特
明院系法華
法類ニ属ス

原稿

大塔宮並楠兵衛尉正成誅伐親類相共変ニ内警固且ハ被誅伐
必徒也然今致忠節者可有恩賞之状依仰就達如件
正慶二年三月廿三日　　右馬権頭
相模守

能登山小山三郎殿

作伊国塔峠十山三郎芳隆致合戦忠之条神妙也有法勝寺殿令
旨所信也就達如件
建武三年六月三日　　左兵衛督
旗

小山三郎殿

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

佐二木信胤ニ於テ備前国小豆島攻撃兵ヲ早速南山ニ集結催合力ヲ
加ヘシ天下御大事ニ時ヲ失ハザル者
天気如斯依執達如件
延元二年九月十八日　左少辯忠雄奉
小山一郎殿
塩冶一族中

御方参合輪ヲ致シ義功忠貴望ヲ任状如件
延元二年九月十八日　刑部卿判

小山一族中

紀伊国小池左衛門尉事ハ二度山事ヲ落居以前者不可遵行之由
所有ヲ訴法也ヲ合存知之旨被仰下之状如件
正平十年五月十三日　左中将判
塩冶小山一族等中

田辺日合輪新勢進崩早貢二ツ入　上覧畢委細使者ニ上ス
畢上候
九月三日
小山新左衛門尉隆重判

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03937

御奉行所

宮途之革被成賜御心遣候由被仰付候事細因名簿十部及不敢
申候恐惶謹言

三月十二日

小山武部大輔殿

豊長判

今度拙寺塔頭諸勢取掛候處ニ早速合力其働被思召殊外候
彌山本主膳ト被申合堅固賞恪不為行要旨之安宅大切今有馬
氏外ハ不被御書候間名俊次ニ御書不有頂戴候然上ハ別
而厚本言候様ニ孫貴殿ニ御委細奉申候恐惶
謹言

遊佐左衛門大夫
長清

長修理少輔
宗信

六月八日

小山五郎三郎殿

熊野入候天王寺諸堂御建立ニ付法房外御建候今御用ハ互
ニ隔無之御相談ニ候前ニ十里も次第有之場所ニも其段入
念申候何ニ御手支候ニハ不可然候幸場所御帰ニ候間前々如

有表可被仰請候以上

三月廿六日

長度

宗益

有度

木村長重

増右長度

山城長俊

市橋市

日元

小山市部殿

玉置十平太殿

小山介三郎殿

慶安元年

慶安元年仕法帳を作成し
孫子の恩情の為永代留置候
延引に落度なき様に
以て乃至御中上申置の通
乃ち品川迄出張
銀遠二事の為乃ち熊野
両量一斗の為なる事

寅年

有志可被仰請候以上

三月廿六日

長重

宗益

有定

木村長重

増右長康

山山城長俊

片桐市且元

小山市部玉

玉置十二平太殿

小山今之進殿

慶安元年正月廿六日

孫右衛門殿

恩情の旨被蒙仰候

延引に成候事不日別使を以て書留を

以て可遣候申上候旨承知仕候

申上候旨

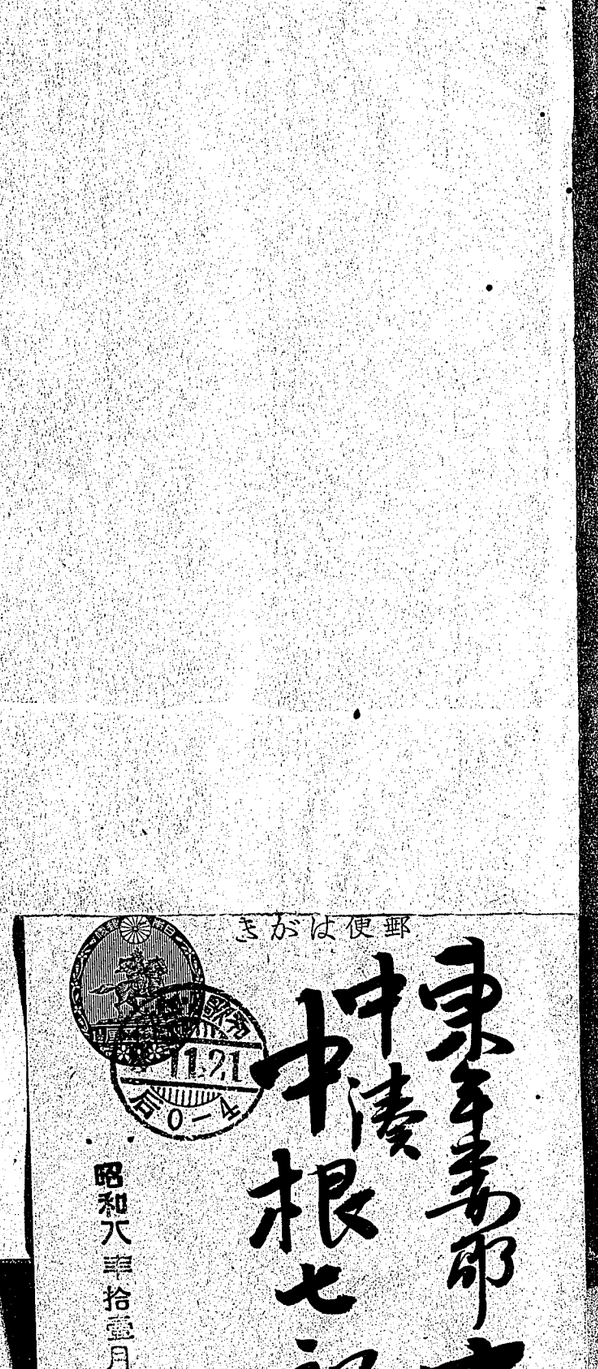
銀遣二事の為の旨

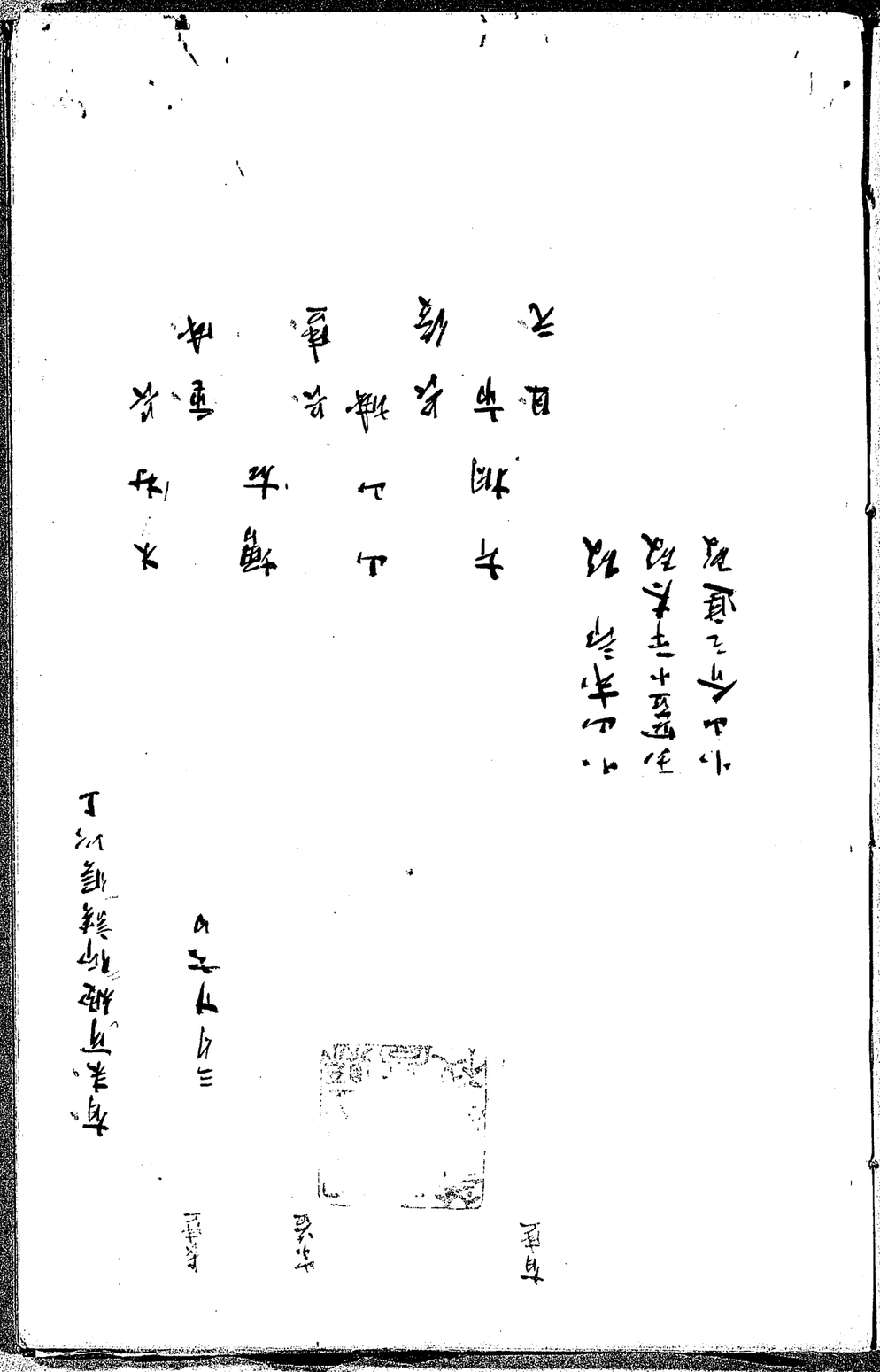
両人一所の旨と存候事

再而

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03937

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03937





小山本部
到着十二年
小山本部

大分県
熊本県
山口県
大阪府
和歌山県
奈良県
京都府
滋賀県
福井県
三月十六日

有馬
小笠原
東京

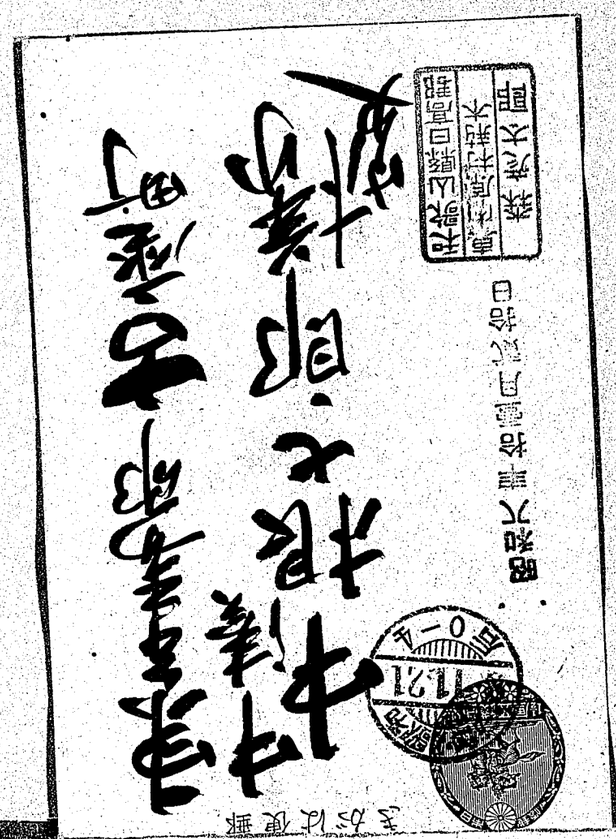
県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03937

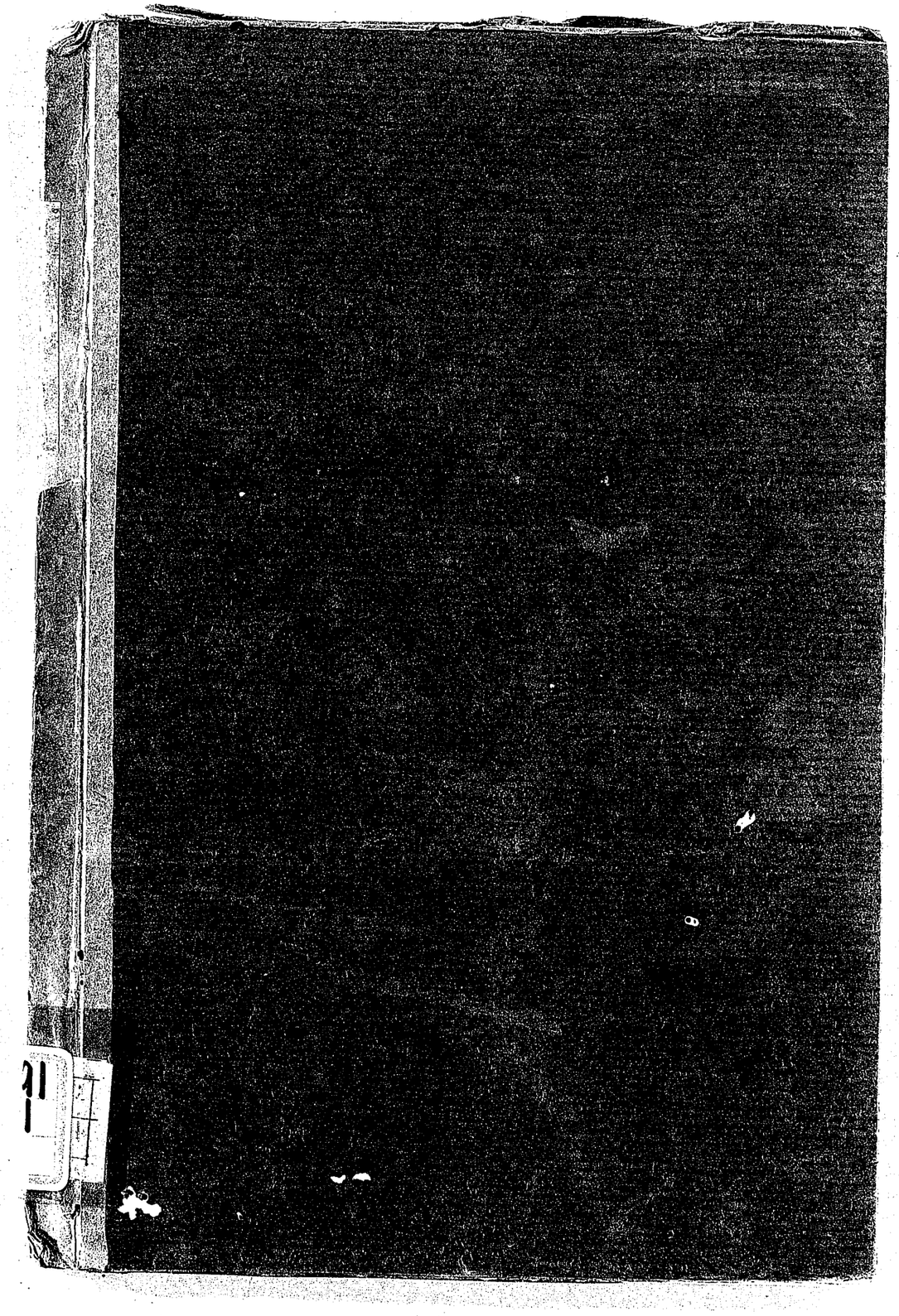
有未可絶師諸侯以上

三月廿六日

木村彦兵衛
増右
山山城
大相大

小山弟部殿
新宮十二郎太殿
小山今之進殿





県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03937